

# 1部構成で開催します！ 「2024東海村はたちの集い」



「2024東海村はたちの集い」(旧成人式)は、学区分けをせず、1部構成で開催します。昨年度とは開催時間等が異なりますのでご注意ください。対象者には、10月中旬から出欠確認を兼ねた案内状を送付します。

【問い合わせ】中央公民館(☎282-3329)

日時▼令和6年1月6日(土)午前10時～(午前9時～9時50分受け付け)※式典は約1時間の予定です。

場所▼東海文化センター

対象▼10月1日現在で村に住民登録があり、平成15年4月2日～平成16年4月1日に生まれた方

その他▼10月1日現在で村に住民登録がない方で参加を希望する場合は、中央公民館(☎282-3329)

へ申し込みください。※個人情報保護の観点と式典の趣旨から、問い合わせや申し込みは、対象者ご本人からお願いします。



はたちの集いのお知らせは順次、  
村公式ホームページに掲載します！

東海村 はたちの集い 検索

ふるさと歴史

～歴史を再発見～

## 稲村繁氏と東海村

左の航空写真は、現在の南台住宅の造成工事前の昭和51(1976)年8月の写真である。これは、「広報とうかい」(令和4年7月25日号)で紹介した故森昭氏が撮影した一枚である。

この地は造成前に小澤野と呼ばれた古代集落の形成された遺跡で、同年の7月19日から8月30日まで発掘調査が実施され、50棟に及ぶ住居跡が発見された。この調査には茨城大学の学生を中心に数多くの学生参加があり、それをまとめて調査を進めたのが、当時茨城大学人文学部2年生であった稲村繁氏である。

彼は福島県いわき市生まれで、最初はインカ文明を専攻しようと考えていたが、この調査によって日本考古学に転向し、その後、動燃敷地内遺跡、部原遺跡、部原古墳、茅山古墳、真崎古墳、戸ノ内古墳等、村内の多くの遺跡調査に関係して多くの記録を残された。

大学を卒業後は國學院大學大学院に進み、東京国立博物館で学び、横須賀市立博物館に勤務の傍ら、東海村で学んだ基



小澤野遺跡

茨城大学名誉教授

茂木 雅博

礎知識をもとに、日本における埴輪研究の牽引者として活躍されていた。しかし博物館からの帰宅途中のバスの中で突然心筋梗塞に襲われ、63歳という若さで他界された。東海村教育委員会が刊行した『戸ノ内古墳発掘調査報告書』(2019)に書いた「戸ノ内古墳出土の埴輪について」がまさに絶筆であった。彼の埴輪研究の嚆矢は動燃敷地内出土の人物埴輪の整理に始まり、茅山古墳で完成し、戸ノ内古墳の人物埴輪でほぼ結論に達した。その成果は、茨城県内を凌駕して我が国の埴輪研究をリードし、さらに中国へへと発展する準備中であった。

稲村繁氏は東海村出土の考古学資料を基礎にした研究で、我が国の埴輪研究で大きく開花しほぼ完成して、その視点を東アジアに置き始めた時点で急逝されたことは大変残念である。しかし彼の緻密な研究業績は当分越えられない事はないだろうと私は思っている。そのような研究成果を上げることができたのは村民の理解と協力のおかげである。稲村氏に代わって師である私が東海村の皆さまに感謝しお礼申し上げたい。